

龍源寺30世住職

渡辺 龍道さん(26)

吉井町多胡

今日一日、父の跡を継ぎ、約三百五十年の歴史を持つ龍源寺(吉井町多胡)の住職に就任した。「人が集まるような寺にしたいんです」。大学時代の長髪を切り、修行の道に入った新任職は夢を語る。

きっかけは大学時代。タイ、ラオス、台湾など、アジアの国々で目にした寺の姿だった。人々が何気なく立ち寄る寺に「これが本当の寺の姿か」と驚きを感じた。

修行終了後、半年ほど働



「任命されたからには精いっぱいやりたい」と話す渡辺さん

身近で人が集まる寺に

ぴーぐる

いた新聞社での経験を生かして、寺の行事などを紹介する寺報「山雲水月」を発行。先月十二日には、副住職を兼ねる仁叟寺(同町神保)で発見した学童疎開の文集に感じてもらえたら」と、一般の人を対象にした座をもちに、当時の児童による

同窓会を実現。五十七年ぶりの再会を喜ぶ姿に感動を覚えた。「今まで伝えられてきた住職の務めはこなし、その上で新しいことをやっていきたいんです」。穏やかなひとみの奥に夢と情熱がきらりと光った。

身近で人が集まる寺に

今日1日、父の跡を継ぎ、約三百五十年の歴史を持つ龍源寺(吉井町多胡)の住職に就任した。「人があつまるような寺にしたいんです」。大学時代の長髪を切り、修行の道に入った新任職は夢を語る。

きっかけは大学時代。タイ、ラオス、台湾などアジアの国々で目にした寺の姿だった。人々が何気なく立ち寄る寺に「これが本当の寺の姿か」と驚きを感じた。

修行終了後、半年ほど働いた新聞社での経験を生かし、寺の行事などを紹介する寺報「山雲水月」を発行。「少しでも寺を身近に感じてもらえたら」と、一般の人を対象にした座禅会も、週一回開いている。

先月十二日には、副住職を兼ねる仁叟寺（同町神保）で発見した学童疎開の文集をもとに、当時の児童による同窓会を実現。五十七年ぶりの再会を喜ぶ姿に感動を覚えた。

「今まで伝えられてきた住職の務めはこなし、その上で新しいことをやっていきたいんです」。穏やかなひとみの奥に夢と情熱がきらりと光った。